

平成25年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校5年）

■分析と今後の指導上の工夫

・ 学校や家での学習

「勉強が好きですか」という質問に対し、肯定的に答えた児童は6割弱とあまり高いとは言えないが、「教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか」の質問に対しては「とても思う」という肯定的な回答が多かった。学習時間は、平日が1時間くらいで、休日にも30分～1時間くらいは行っている。授業への取り組みについては、「先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている」「学習をしていておもしろい、楽しいと思うことがある」という肯定割合は高い。学習に対する気持ちや態度については、「学習をして、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」という質問に対しては肯定的な回答が多かったが、「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」という質問に対しては、肯定的に答えた児童は6割弱と低かった。基本的な学習態度や学習に対する意欲が向上していくように、継続して指導していく必要がある。

・ 毎日の生活

学校で、友達、先生に対してのあいさつの肯定割合は高いが、家族や地域の知っている人へのあいさつの肯定割合はやや低い。あいさつすることの大切さをしっかり指導して、進んで自分から誰にでもあいさつできるように働きかけたい。また、「学校生活に満足している」という質問に対しての肯定割合はあまり高くない。教育相談等で具体的に情報を収集し、個々の児童のニーズに対応したい。「学校以外で、1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか」と「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンゲームをしていますか」という質問に対しては、平日は1時間～2時間と回答している。しかし、休日になると、3時間以上テレビ等を見ていたり、テレビゲームを行ったりしている児童もみられる。家庭とも連携して指導していく必要がある。学校がある日の寝る時間については、5割程度の児童が午後9時前までには寝ている。反面、11時過ぎに寝る児童に対しては家庭にも協力を求め、生活習慣の改善を図っていききたい。

・ 携帯電話

携帯電話の所有率は昨年度より多くなっているが、フィルタリングをしていたり、ルールを家の人と決めていたりする児童は約6割程度である。今後、所有率もさらに増えていくことが考えられるので、ネットトラブル防止のためにも、十分な指導をしていく必要がある。

・ 体力や健康、食事、安全

「運動が好きである」という質問に肯定的に回答した児童は8割以上と高いが、「健康や体力に自信がある」という肯定的な回答をした児童は約5割であった。運動に取り組める場を多く設けたり、家庭や休日にも運動に取り組めたりできるようにして、体力のさらなる向上を図っていく必要がある。毎朝朝ご飯を食べてきている児童が多いが、家の人と一緒に食べていない児童もあり、家庭との連携を図る必要がある。好き嫌いについては、苦手なものもがんばって食べている児童が多いが、全く食べていない児童もみられるので、今後も指導の工夫改善をしながら家庭にも呼びかけていきたい。